

# いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol.5 成った果実を大切に管理しよう！

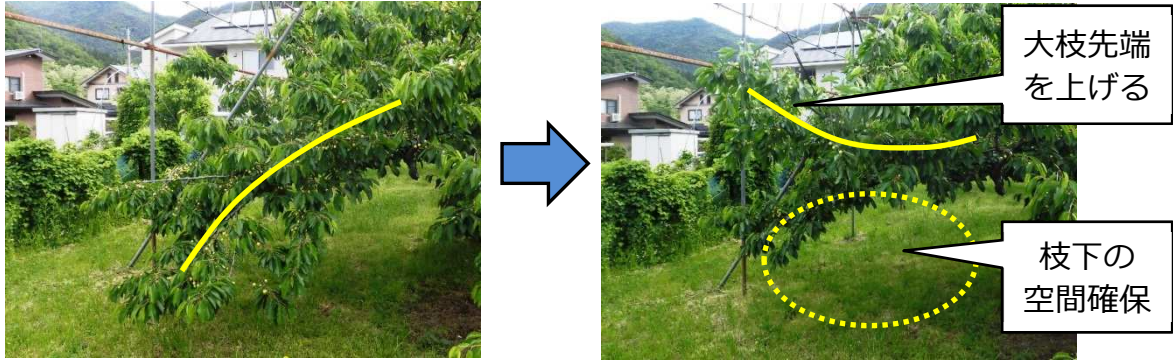
★霜害により、着果状況は園地や樹によるバラつきが大きくなっています。全般に着果は少ない状況なので、丁寧な着色管理を行い、品質の良い果実に仕上げましょう！

## 1. 着色管理

### (1) まずは枝吊り・枝誘引（新梢管理、葉摘み前に実施）

- ◆霜害により、下向きで着果が多くなっている場合があります。
- ◆枝吊りを行い、果実に光が当たるようにしましょう！

○枝と地面、枝と枝の間隔をあげ、日当たりを確保



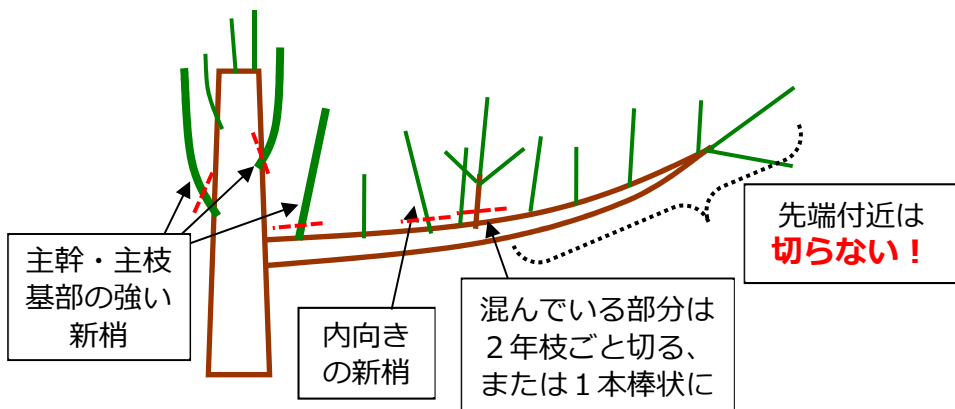
### (2) 新梢管理

- ◆着果量が少ない場合、新梢生育が旺盛になり、枝が混み合っ樹冠が暗くなりがちです。
  - ◆果実に光が当たるように
  - ◆薬剤の通りを良くするために
- 適切な新梢管理を行いましょう！

※主幹周りや主枝基部が混み合い、

日当たり不良、薬剤が通りにくい場合に実施

- 切り過ぎない（適度に残す）・弱った樹では実施しない
- 日焼けしそうな主枝背面の新梢はできるだけ残す



### (3) 反射シート設置

- 着色始期頃（収穫2週間前頃）から設置
- 樹の両側を挟み込むように、園地全体の50%以上に設置

### (4) 葉摘みは最小限に！

- 果実を育て、着色させるのは葉の力 ⇒ 摘み過ぎは逆効果！
- 大きい葉を、花束状短果枝当たり4枚以上残す！

手順

- ①小さい葉（マメ葉）をとる
- ②果実に挟まっている葉、果実に覆いかぶさり密着した葉をとる

〈葉摘み前〉



〈マメ葉摘み後〉



〈葉摘み終了〉



### (5) 修正摘果

- ※一部では着果量が多い園地・樹・枝もみられる
- 着色促進のため、着果量が多い部分は葉摘みと同時に摘果

## 2. かん水(高温・乾燥の場合は必須！)

※着果量の少ない園地・排水が良くない園地では、裂果に注意を！

- 着色期以降は土壌水分を低く維持、ただし  
晴天が続いたら、**3～4日おきに3,000～5,000L/10a** かん水  
※水利から遠い園地では、**樹冠下だけでも100L/樹**かん水

## 3. 防除

- 灰星病の重点防除時期となるため、定期的に薬剤散布を！

**注意！**

**さくらんぼ作業中の事故が多発しています！！**  
(脚立、雨よけ施設からの転落)

- 動きやすい服装、滑りにくい靴で作業を！
- 雨よけ施設のクランプ、パイプの不具合がないか確認！
- 脚立はチェーンを掛ける！天板には立たない！ ○無理な姿勢で作業しない！
- 危険な作業は二人以上で、携帯電話も忘れずに！
- 暑さが続くので、熱中症にも注意！ ○コロナ対策にも配慮！  
(外作業で十分な距離が確保できる場合は、熱中症対策としてマスクを外す)

- 農作物残さ(剪定枝等) などのうち、循環利用が可能なものは資源として適正に利用するとともに、利用できない場合は、市町村等の焼却処分場で処理しましょう！
- 薬剤散布に当たっては、周辺の住民、河川等の周辺環境、周辺作物に十分配慮しましょう！

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課

TEL:023-621-8270

TEL:0237-86-8215

TEL:0237-47-8631

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸農業推進課・農業技術環境課)